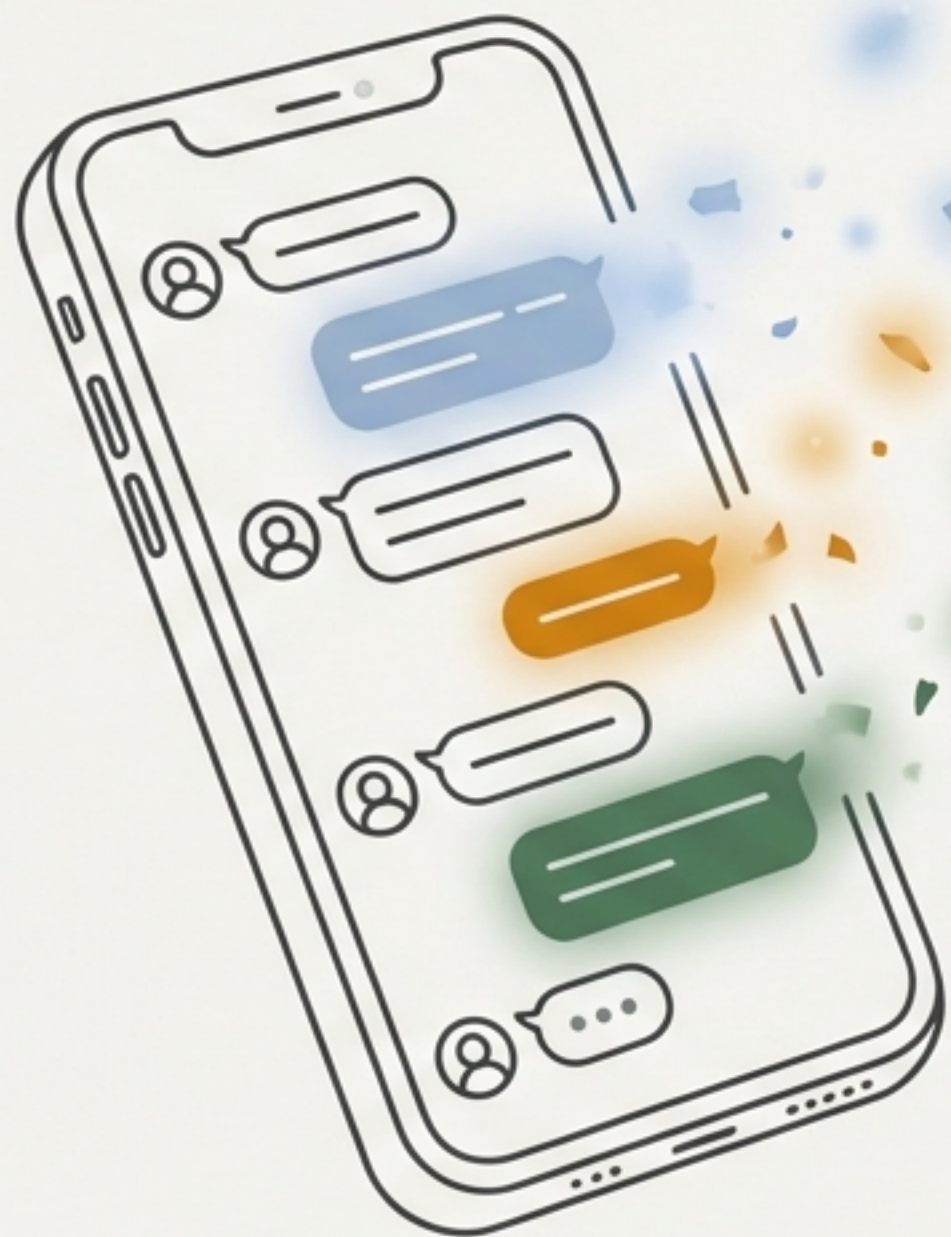




そのLINEの思い出、永遠ですか？

家族のためのLINEデジタル終活ガイド

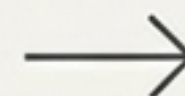
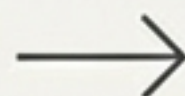
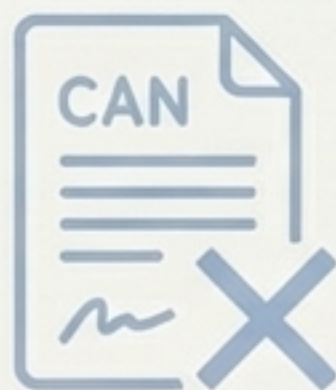
ある日突然、大切な思い出が消えるかもしれません。



「亡くなった家族とのLINE、
いつまでも見返していたい...」

何も対策をしなければ、携帯電話契約
の解約などをきっかけに、アカウントと
全てのデータが完全に消去されてしま
う可能性があります。

なぜ消えるのか①：電話番号の「再利用」



1. 遺族が携帯契約を解約

故人の電話番号は携帯会社
に返還されます。

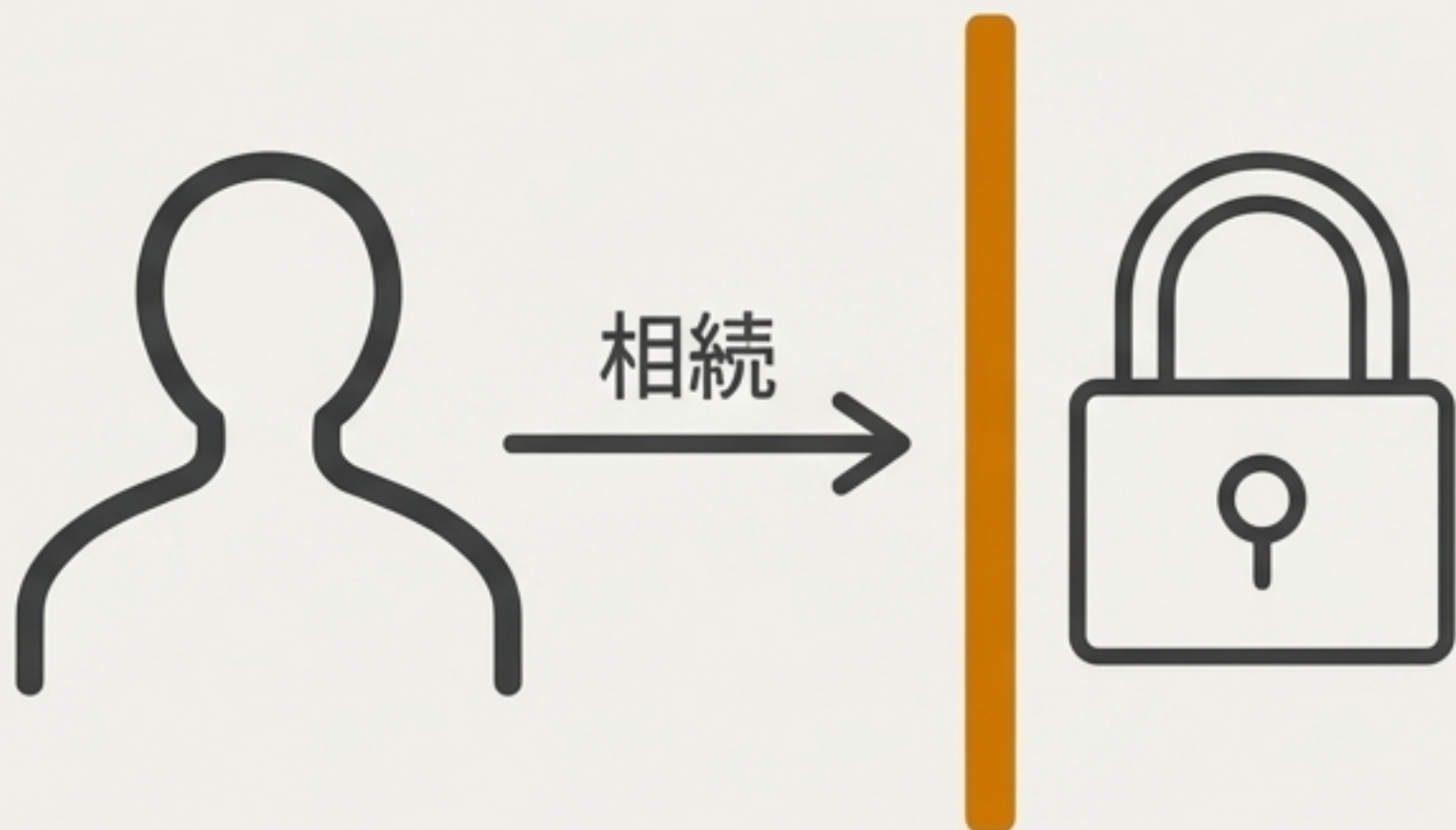
2. 電話番号が他人に 割り当てられる

一定期間後、返還された番号
が新しい契約者に割り当
ててられます。

3. 新しい利用者がLINEに登録 → アカウントが上書き・消滅

新しい契約者がその番号で
LINEに登録すると、故人のア
カウントは自動的に削除され
ます。

なぜ引き継げないのか②：「一身専属」の原則



Simple Explanation:

LINEアカウントは、運転免許証のように「その人個人だけが持つことを許された権利」であり、家族であっても相続はできません。

Official Terms (for credibility):

LINE利用規約 第4条4項（抜粋）

「お客様の本サービスにおけるすべての利用権は、第三者に譲渡、貸与…または相続させることはできません。」

なぜ引き継げないのか③：徹底したプライバシー保護



このルールは、故人本人だけでなく、故人とやり取りをしていた友人・知人など、相手方のプライバシーを守るためでもあります。第三者のプライベートな内容が意図せず知られてしまうことを防ぐ、LINEの基本スタンスです。



最重要：すべての作業は 携帯契約の【解約前】に！

これからご紹介する保存作業は、必ず故人の携帯電話契約を解約する「前」に行ってください。このタイミングを逃すと、思い出が永遠に失われるリスクがあります。

思い出の保存方法サマリー

データ種別	おすすめの保存方法	注意点
 トーク履歴 (文字)	「トーク履歴を送信」機能、スクリーンショット	スクショならスタンプも見たまま保存可能
 写真・動画	端末本体（カメラロール）への個別保存	KeepメモはNG (アカウントと共に消滅)
 アルバム	写真を個別に端末へ保存	アカウント削除と共に アルバムも消滅します

実践①：トーク履歴と写真・動画の保存

トーク履歴の保存



1. 保存したいトーク画面を開く
2. 右上のメニュー[≡]>[設定 ⚙️]をタップ
3. 「トーク履歴を送信」を選択
4. メール等で自分宛に送信

写真・動画の保存



1. 保存したい写真や動画を長押し
2. 表示されたメニューから「保存」を選択

**【重要】必ず「端末本体」に保存してください。
Keepメモへの保存は永続的ではありません。**

注意：これらは永続的な保存場所ではありません



LINE Keep

2024年8月28日にサービスを終了しました。後継の「Keepメモ」はアカウントが消えると中身も一緒に消滅するため、保存場所にはなりません。



LINE Album

アルバム機能は便利ですが、故人のアカウントが削除されると、トークルームに紐づくアルバムもすべて見られなくなります。

保存後、アカウントはどうする？

選択肢	メリット	デメリット・注意点
アカウントを削除する (Delete the Account)	✔ プライバシーが完全に保護される ✔ アカウント乗っ取りのリスクがゼロになる	⚠ LINE社への手続きが必要 ⚠ データは復元不可能
何もしない（放置する） (Do Nothing / Leave As Is)	✔ 特別な手続きが不要 ✔ 友だちリストに故人のアイコンが残る	⚠ 電話番号再利用でいずれ消える ⚠ 乗っ取り等のセキュリティリスク

*ご遺族によるアカウント削除は必須ではありません。

もっと確実な方法：AppleとGoogleの「デジタル遺産」機能



LINEには公式の死後対応機能はありませんが、スマートフォンのOS提供元であるAppleとGoogleには、より強力な公式機能があります。

これらを設定すれば、LINEだけでなく、写真、連絡先、メモなど、**スマホ全体のデータ**を信頼する家族に託すことができます。

Apple「故人アカウント管理連絡先」とGoogle「アカウント無効化管理ツール」



故人アカウント管理連絡先 (Legacy Contact)

- **機能 (Function):** 指定した人（最大5名）が、死後にAppleアカウントのデータ（写真、メッセージ等）にアクセス可能になります。
- **期間 (Duration):** 承認後3年間
- **設定 (Setup):** 「設定」> [自分の名前]> 「サインインとセキュリティ」> 「故人アカウント管理連絡先」



アカウント無効化管理ツール (Inactive Account Manager)

- **機能 (Function):** 一定期間アカウントが利用されない場合に、指定した人（最大10名）にデータ共有の通知を送るか、アカウントを自動削除するかを設定できます。
- **待機期間 (Waiting Period):** 3ヶ月～18ヶ月で設定可能
- **設定 (Setup):** Googleアカウント管理ページ> 「データとプライバシー」> 「アカウント無効化管理ツール」

国民生活センターが推奨する「デジタル終活」の始め方

専門機関も、シンプルな準備から始めることを推奨しています。

- ✓ **パスワードを紙に書いて安全な場所に保管:** 家族にその場所だけを伝えておく。
- ✓ **家族だけがわかる「合言葉」を残す:** 「パートナーの誕生日」など、解読可能なヒントを。
- ✓ **エンディングノートを活用する:** 利用サービス一覧や希望を記録しておく。
- ✓ **Apple/Googleの公式機能を設定する:** 最も確実な方法として、これらの機能を活用する。

今日からできる、未来の家族への「思いやり」

- 1. LINEアカウントは相続できない**
大切な思い出は、アカウントが活着ているうちに手動で保存する必要があります。
- 2. 思い出は、必ず【解約前】に手動で保存**
タイミングが最も重要です。
- 3. 一番の備えはApple/Googleの公式機能設定**
自分のため、そして家族のために、最も確実な備えをしておきましょう。



大切な思い出を、未来へつなぐ。

デジタル終活は、残される家族への負担を減らすための、未来への「思いやり」です。
元気なうちから少しずつ準備を進めておくことが、家族の心の負担を大きく軽減します。

さあ、今日、家族と話してみませんか。